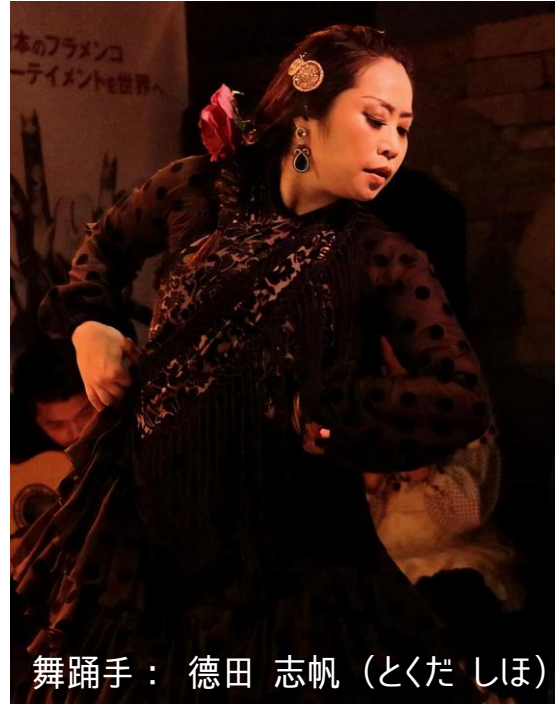


島唄 と フラメンコ

2018年10月14日(日) 鹿児島県産業会館 2階ホール



唄者：永 志保（ながい しほ）



舞踊手：徳田 志帆（とくだ しほ）

苦しみの中から生まれ、悲しみや憤り、そして生きる喜びを音にのせて、時にうたい、時に踊り、生活の中に脈々と受け継がれてきた2つの伝統芸能を肌で感じる

大河ドラマ「西郷どん」でえがかれた奄美大島…混乱の幕末期に頭角を現した薩摩藩の陰には圧政に耐え忍ぶ島民たちがいました。その苦しみから生まれたとされるのが「島唄」です。また鹿児島から遠く離れたスペイン アンダルシア地方発祥とされる「フラメンコ」の背景にも放浪の民「ロマ」の迫害の歴史があるとされています。

「島唄とフラメンコ」は全く異なる文化圏にありながら、その歴史的背景が通底する2つの伝統芸能を鹿児島県出身の2人のアーティストを通して知り、実際に体感することができるワークショップと公演の体験鑑賞型のイベントです。

【イベントの特徴】

●知る/体験する：小学生向けワークショップ

小学生向けワークショップでは、まず2つの伝統芸能について対話形式で学びます。そして実際に島唄/フラメンコの「うた」を通して旋律やリズムを体感してもらいます。ワークショップの仕上げはその後に行われる公演にて実際に舞台に立っての実演！公演のフィナーレを飾ります。プロのアーティストとの共演を通じて本質に近づくことを目的とし、参加者でありながら最後には演者として舞台に立てる特別な体験へ子どもたちを誘います。

●観る/感じる：公演

公演は文字通り「島唄」と「フラメンコ」、2人のアーティストが互いに初となるスペシャルコラボレーションに挑みます。唄者と舞踊手からひととき目を離せないステージ。島唄とフラメンコ、遠く離れた土地に生まれた2つの伝統芸能がどのように共鳴しあうのか、ぜひご期待ください。

【イベント開催概要】

タイトル: 島唄とフラメンコ

日時: 2018年10月14日(日)

◇ワークショップ 13:30 開場、14:00 開始

◇公演 15:10 開場、15:30 開演

場所: 鹿児島県産業会館 2階ホール(鹿児島市名山町9-1)

出演者:

島唄 唄者 永志保

フラメンコ 舞踊手 徳田志帆

主催: 鹿児島県、リーディングプロジェクト創造事業企画委員会

企画・運営: 「島唄とフラメンコ」実行委員会

後援: かごしま文化維新プロジェクト ACT、かごしま Art Weekend

文化芸術による地域活性化講座(アートマネジメント入門編) 成果発表

参加費:

◇ワークショップ+公演

小学生限定 20 名（親御様 1 名まで同伴可）1,500 円

※お子様 1 名追加ごとに+500 円

◇公演 大人 1,000 円、学生 500 円

※未就学児無料

チケット予約:

下記リンクのお申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お送りください。

<https://goo.gl/forms/2sUJxP7qOYu9YFoH3>

※ワークショップ+公演は申込先着順となります

広報及び一般のお問い合わせ先:

bamos.artmanagement2018@gmail.com

080-4087-5691 (徳田 明奈)

【アーティスト紹介】

島唄: 唄者 永 志保 (ながい しほ)



喜界町出身。祖父と母の影響を受け、中学の時から島唄・三味線を始める。毎年5月に行われる奄美民謡大会において、優秀賞・新人賞などを受賞。平成18年には奄美民謡大賞を受賞。KTS主催・鹿児島県民謡王座決定戦決勝大会では青年の部で2回優勝。県内外の様々なイベントに出演。また、島唄のアレンジやオリジナルなど、バンドでの音楽活動も行っており、企業のCMソングやイメージソングなどにも参加している。CD「太陽加那志の唄」「恋のそら」発売中。

フラメンコ: 舞踊手 徳田 志帆 (とくだ しほ)



鹿児島市出身。鹿児島玉龍高校卒。iBS 外語学院卒業後アメリカへ留学。帰国後東京へ上京、2005年にフラメンコに出会う。2012年、第21回新人公演「フラメンコ・ルネサンス 21」バイレ/ソロ部門 奨励賞受賞。2013年第7回CAFフラメンコ・コンクールにてコンセルバトリオ賞受賞、同年渡西。現在は鹿児島を拠点に全国各地での公演・イベント出演、後進の育成・指導に力を入れている。平成29年度(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。

オフィシャルウェブサイト: <http://shihotokuda.com>